

ソフトテニス新人女子個人戦：名寄市営コート 宮嶋さんが個人2冠

ダブルス 工藤さん優勝 シングルス 平田さん・芦田さん3位



ダイナミックに強打を打ち込む宮嶋香林さん

ートへ鋭い打球を決め、第2ゲームも連取した。続く第3ゲームはラリーで決定打を放てず、押し負けて1-4でゲームを落とす。すると、続く第4・5ゲームもチャンスを活かし切れず、立て続けにゲームを落とし、ゲームカウント2-3と逆転される。しかし、第6ゲームで奮起した名高ペアは、宮嶋さんのクロスコースへの強打、工藤さんのボレーが鮮やかに決まり、勢いに乗り4-2でゲームを奪い、ファイナルゲームに突入した。ファイナルゲームは宮嶋さんのセンターライン際を狙ったサービスエースで先制するが、両ペアともにアウト・ネットのミスで試合は膠着する。しかし、相手のミスが2回重なると、工藤さんが鋭いショットを決めてリード。最後は相手のストロークがアウト

極的に前に出てボレーを決めるなどして主導権を握る。その結果、ゲームカウント4-1で勝利して、準決勝進出を果たした。

準決勝は大西・小川ペア(下商)と対戦。第1ゲームは工藤さんのボレーと宮嶋さんの強打で圧倒し、4-2で先制する。第2ゲームは両ペアとも攻めのプレーをみせるが、交互にミスが続きデュースへ。デュースでは互いに粘りラリーが展開したが、宮嶋さんが足に怪我をして5分間のタイムアウトとなる。宮嶋さんの怪我の状態が不安の中、相手のゲームカウントで再開。名高は工藤さんのボレーと宮嶋さんのサーブで逆転するが、ミスが出て再びデュース。その後も点を取り合う接戦となるが、最後は宮嶋さんがストレ

トとなり7-5でこのゲームを奪い、ゲームカ



コースを狙いストロークを放つ芦田麻尋さん



走り込みバックボレーを決める平田遥さん

8月22日から23日まで、名寄市営麻布コートで第48回高校新人戦ソフトテニス大会名寄地区予選が開催された。22日にダブルス個人戦、23日にシングルス個人戦が行われた。

女子の部には、名寄高校、名寄産業高校、土別翔雲高校、下川商業高校の4校が参加。名高からは2年生2人、1年生4人の計6人が出場し、ダブルスで宮嶋香林さん(2A)・工藤あいりさん(1A)ペアが優勝。シングルスでは宮嶋さんが優勝、平田遥さん(2B)と芦田麻尋さん(1B)がともに3位となった。

ダブルス戦予選リーグでは、Aブロックで宮嶋・工藤ペアが2勝1敗で決勝トーナメントに進出。齊藤ひなのさん(1C)・石田ななみさん(1C)ペアはAブロックで1勝2敗、平田・芦田ペアはBブロックで0勝3敗となり、ともに7位決定戦へ回った。

宮嶋・工藤ペアは決勝トーナメント1回戦で高屋鋪・河野ペア(下商)と対戦。宮嶋さんがロブで相手を左右に振り、要所で強力なストロークを放ち試合を優位に進めると、工藤さんも積

名寄高新聞

新人戦特集

北海道名寄高等学校新聞局

2020.9.28

発行責任者 岡田 菜月

第1990号(20-21)



体を伸ばしハイボレーを打つ工藤あいりさん

ウント4-3で接戦を制した。

決勝は土別翔雲の森竹・青木ペアと対戦。第1ゲームは宮嶋さん、工藤さんともに果敢にスマッシュで攻めて4-2で先制するが、第2ゲームは相手が積極的なネットプレーで攻め2-4でゲームを奪われる。しかし、その後、名高ペアは勢いを取り戻す。第3ゲームは宮嶋さんのストローク、工藤さんのスマッシュやロブで得点し4-1で取り返す。第4ゲームは序盤、ネットやアウトのミスが続きリードされるが、工藤さんのボレーが決まり流れを引き込み、連続得点でデュースに持ち込んで5-3と逆転。ゲームカウント3-1とする。第5ゲーム、後のない相手ペアが粘りをみせて、2-3とリードを許す。しかし、工藤さんが絶妙なロブで相手を揺さぶり逆転し、その後も安定したプレーをみせ、5-3でこのゲームも奪取。ゲームカウント4-1で勝利し、見事優勝を果たした。

平田・芦田ペアと齊藤・石田ペアの7位決定戦は、第1ゲームで芦田さんのサービスエースや平田さんのスマッシュが決まり、4-2で平

田・芦田ペアが先取。すると平田・芦田ペアはリズムに乗り、ゲームカウント3-0と優位に立つ。追い詰められた齊藤・石田ペアは第4ゲームで、齊藤さんのサービスエースや石田さんのスマッシュなどで攻め、デュースになるも7-5でこのゲームを奪う。しかし、第5ゲームは平田さんのストレート強打などで、平田・芦田ペアが4-2で取り、ゲームカウント4-1で平田・芦田ペアが勝利し7位。齊藤・石田ペアは8位となった。

2日目はシングルス戦がトーナメントで行われた。名高からは6名全員が出場。

齊藤さんは1回戦で、1回戦をシードされた他の選手たちのうち工藤さんと石田さんは2回戦で敗れた。宮嶋さん、平田さん、芦田さんは2回戦、3回戦を突破し、準決勝へ進出した。

平田さんは準決勝で土別翔雲の青木さんと対戦。試合は手に汗を握る熱戦となり、ファイナルゲームまでもつれたが、平田さんは惜しくもゲームカウント2-3で敗れ、3位となった。

宮嶋さんと芦田さんの準決勝は激闘でファイ

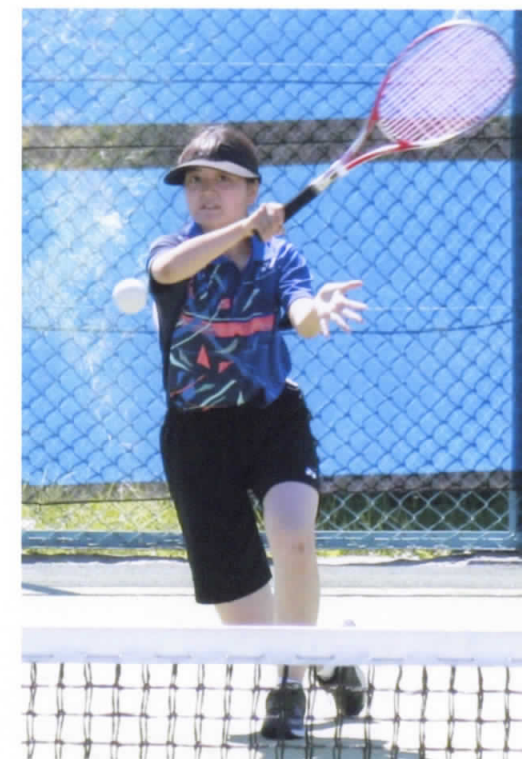


積極的に前に出てスマッシュを打つ石田なみさん

ナルゲームへ。ファイナルゲームも白熱し、クロスとストレートにストロークを打ち分けて優位に立つ芦田さんが7-6とマッチポイントを握る。しかし、ここから宮嶋さんは前に出ての強打、エンドラインぎりぎりへのロブ、ストレートへの強打で3連続得点。劇的な逆転勝利を収め、決勝に進出。芦田さんは3位となった。

宮嶋さんは決勝で土別翔雲の青木さんと対戦。第1ゲームはコート隅を狙ったストロークで攻め、4-2で先取する。第2ゲームは相手のドロップショットやコーナーを攻めるショットに苦戦するも、安定したストロークで対応。デュースとなるが、サービスエースや正確な強打で攻め、6-4と連取する。第3ゲームもコースを狙った巧打で攻めて、4-1と圧倒。ゲームカウント3-0で快勝して見事優勝し、ダブルス・シングルの2冠を達成した。

なお、ダブルス、シングルスともに7位までが全道大会出場権を獲得した。



相手の位置を確認しストロークを放つ齊藤ひなのさん

勝ちたいという意識で参加 宮嶋 香林 主将

前大会では、今大会で対戦した相手の弱点とともに、自分の改善点を見つけることができた。それをもとに練習の計画を立てて、意識を変えていった。

今大会は全道に繋がる大会なので、全員が勝ちたいという意識を持って参加した。1年生と2年生では、部活でプレーできる

残りの時間の意識に差があったので、練習にもその差があったと思う。1年生と考えの違いがあり、悩んでいたが、自分たちの思いを伝えたことにより、チームがよりまとまりを持てたと思う。

全道に参加する2ペアとも、2回戦以上勝つという目標を持って臨みたい。

メンタルと気力が今後の課題 市川 瑞葵 監督

基本的に選手たちが、何が必要かを考えて練習メニューを組んでいた。

2年生の選手は、部を引っ張り、後輩に先輩として良い姿を見せてくれた。

男女とも、前大会で1回戦負けしたことを引きずっていたので、メンタルと気力が

今後の課題だと思う。

全道大会は、地区大会以上にプレッシャーがかかると思う。地区大会と全道大会の間が短いこともあるが、見守っていききたい。

専門的な指導はできないが、主にメンタルの面でこれからもサポートしていきたい。